

広報

71の 4

2010
No. 675

この春入学の小学1年生
24人を紹介します
◆氏名は22ページに掲載しています

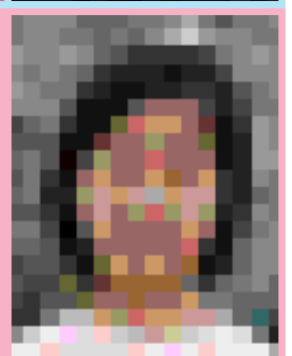
根雨 小学校

13人
(順不同)



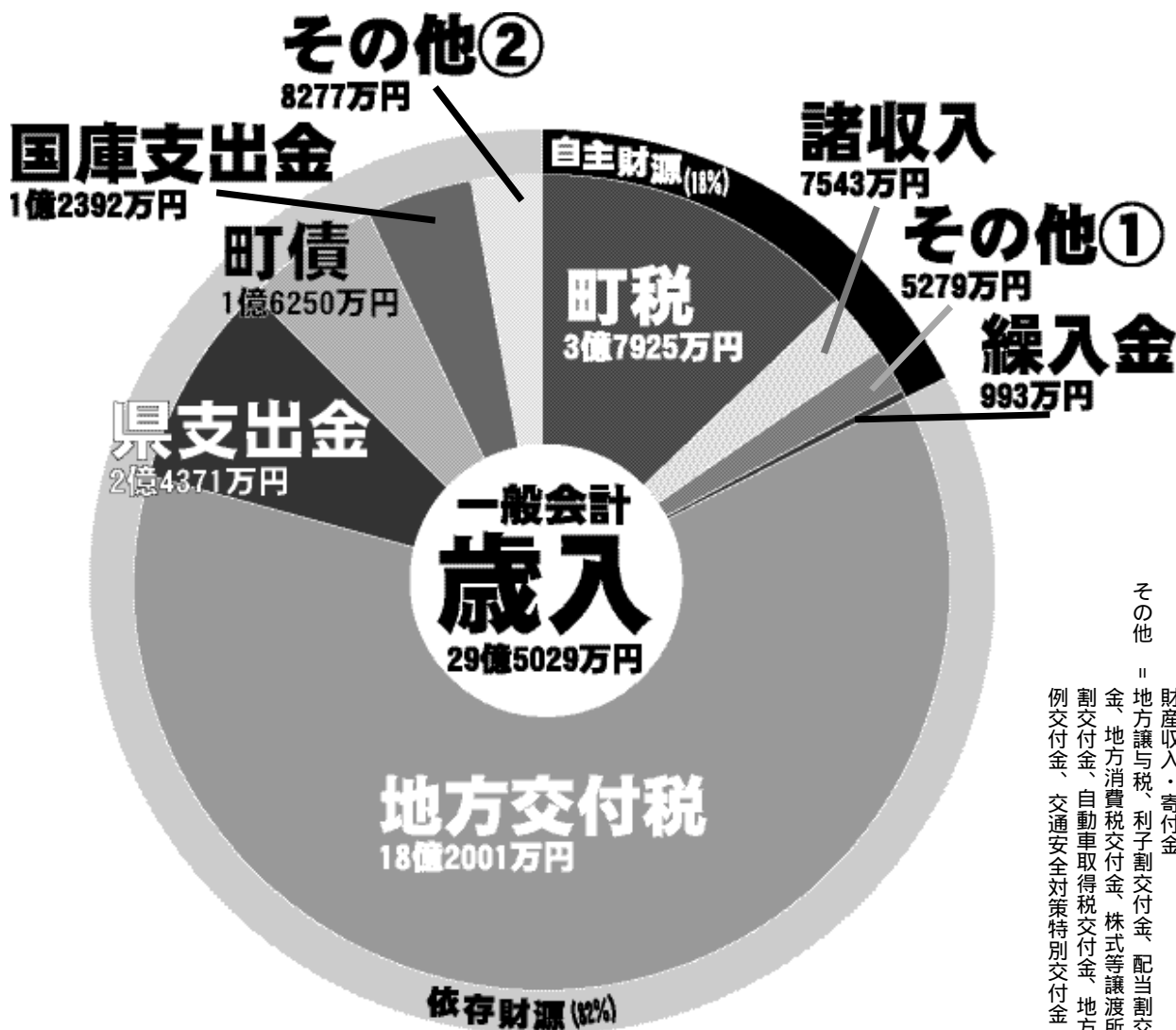
黒坂 小学校

11人
(順不同)



編成

3月の第2回町議会定例会で、町の平成22年度当初予算が承認されました。一般会計では、予算規模は総額約29億5029万円となり、昨年度当初に比べると約4.5%増となりました。今年度の一般会計と特別会計の当初予算についてお知らせします。



その他
 〓 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入・寄付金
 〓 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、地方消費税交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

一般会計 歳入

地方交付税が6割占める

町の歳入(入ってくるお金)は、その性質から、自主財源と依存財源の2つに大きく分けられます。

自主財源は、町税や使用料など、町が自主的に収入にできるもの。今年度の一般会計当初予算では、総額約5億1739万円となりました。これは、歳入全体のおよそ18%となります。

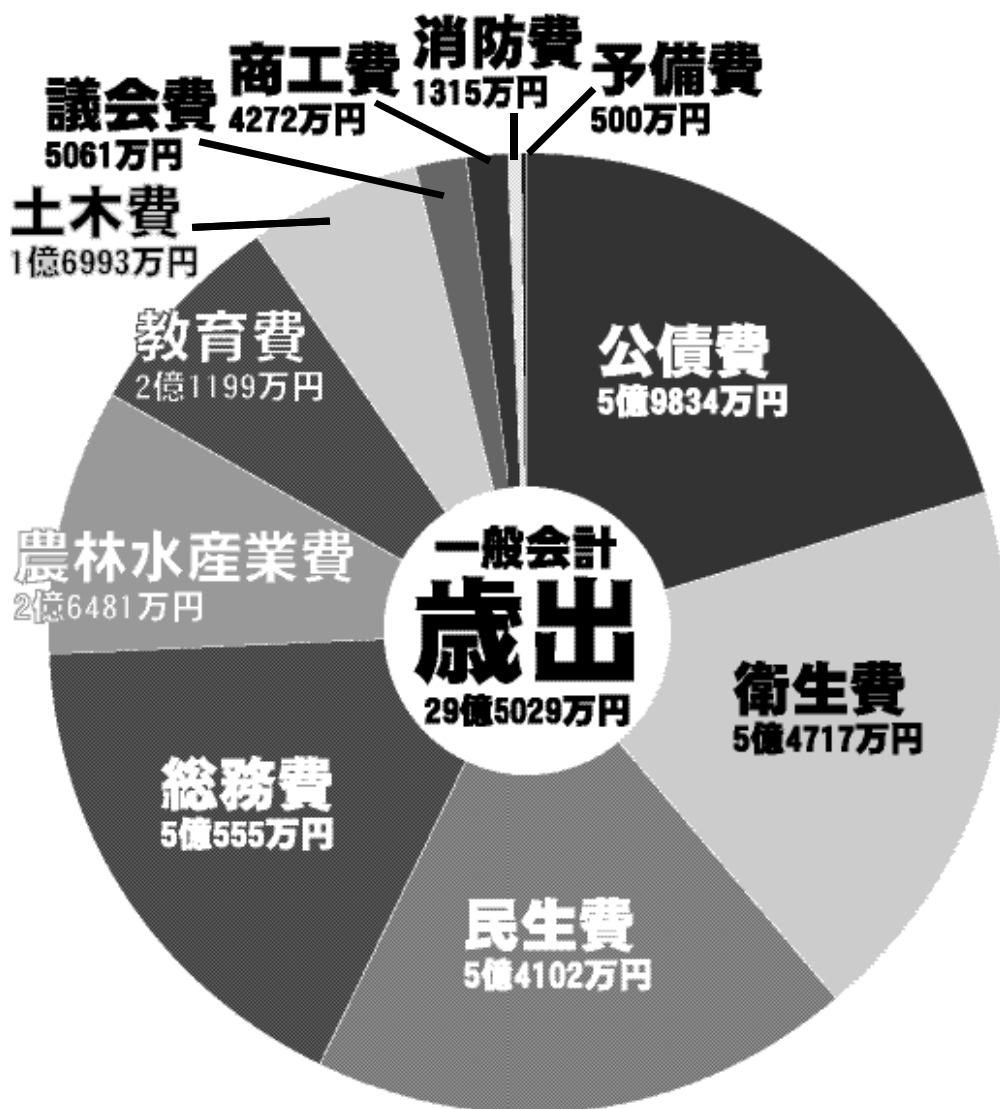
これに対し、依存財源は、地方交付税や国・県からの支出金などをいいます。今年度当初では総額約24億3290万円となり、歳入全体の約82%となりました。

歳入の主な内訳を、全体に占める割合から見ると、一番大きいのは地方交付税(約18億2001万円)で、およそ6割を占めています。

続いて、町税(約3億7925万円)が全体の約13%、事業に伴って入ってくる県支出金(約2億4371万円)が全体の約8%という順になっています。

若者定住・子育て支援など、 安心して暮らすための予算を

平成 22 年度当初予算



一般会計

歳出

公債費は年々減少

町の歳出（支払うお金）を、全体に占める割合の大きさをみると、町が事業のために借り入れた町債の返済金である公債費（約5億9834万円）が一番大きく、全体の約20%を占めています。

続いて割合の大きいのが、日野病院組合負担金や予防接種、環境衛生や簡易水道線出金などに使われる衛生費の約5億4717万円。次いで、民生費の約5億4102万円となります。これは、主に福祉事業や健康づくり、保育所運営に使われるものです。

さらに、西部広域行政管理組合負担金やバス運行、選挙や地デジ対策などに使う総務費の約5億555万円、農林業振興などに使う農林水産業費の約2億6481万円、学校教育や生涯学習などに使う教育費の約2億1199万円の順となっています。

近年は、民生費と衛生費が増える傾向にあり、公債費は年々減少しています。

一般会計歳入予算比較表

(単位：千円、 : 減額)

科目	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度比 (%)
町 税	379,249	372,162	7,087	1.90
諸収入 (うち財源不足額)	75,426 (0)	81,349 (0)	5,923 ()	7.28 ()
繰入金	9,926	9,359	567	6.06
地方交付税	1,820,009	1,801,345	18,664	1.04
県支出金	243,705	186,575	57,130	30.62
町 債	162,500	150,000	12,500	8.33
国庫支出金	123,920	72,368	51,552	71.24
その他	52,787	58,684	5,897	10.05
その他	82,767	90,468	7,701	8.51
計	2,950,289	2,822,310	127,979	4.53

※その他①・②の内訳は2ページをご覧ください

一般会計歳出予算性質別比較表

(単位：千円、 : 減額)

科目	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度比 (%)
人件費	576,824	540,142	36,682	6.79
物件費	287,251	260,255	26,996	10.37
維持補修費	19,922	17,217	2,705	15.71
扶助費	177,602	142,458	35,144	24.67
補助費	839,130	681,860	157,270	23.06
普通建設事業費	39,231	33,220	6,011	18.09
災害復旧事業費	0	0	0	-
失業対策費	0	0	0	-
公債費	606,936	724,825	117,889	16.26
積立金	1,060	1,270	210	16.54
投資及び出資金	0	0	0	-
貸付金	31,450	36,450	5,000	13.72
繰出金	365,883	383,613	17,730	4.62
前年度繰上充用金	0	0	0	-
予備費	5,000	1,000	4,000	400.00
計	2,950,289	2,822,310	127,979	4.53

安心して暮らせるまちを
主眼に予算を編成

過疎・高齢化により、町の人口は年々減少しています。町が誕生した昭和34年当時は9100人余りだった人口も、50年の間に6割近くが減ったこととなります。

現在の65歳以上の高齢者の割合はおよそ4割で、町民の2・5人に一人が高齢者という状況です。

町財政の見通しとしては、収支は改善されつつありますが、町の借金の返済金の比率である実質公債費比率は、平成24～25年度ごろまで国の早

期健全化基準の25%を上回る見込みです。

引き続き、地方税はもちろん、歳入の大半を占める地方交付税や各種補助金などの財源確保を図り、また、町税や貸付金などの未収金の回収にも全力で取り組みます。

歳出については、緊急性の

高い事業を優先しながらも、若者が定住できる環境の整備を図るとともに、安心して子育てができる支援策も取り入れていきます。

また、集落や地域に活力が取り戻せるよう「まちづくり交付金」も創設します。

町財政の厳しさは依然変わ

りませんが、平成22年度は、厳しい中にも新しい事業が展開できるよう予算にめりはりを付け、住民と行政が協力して「安心して暮らせるまちづくり」を目指すための予算編成としました。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

総務課

防災一般管理(13万円) = 土砂災害ハザードマップ作成、新型インフルエンザ感染防護用品の備蓄

参議院議員選挙(739万円)
町農業委員選挙(325万円)

企画政策課

第5次日野町総合計画策定(52万円)
地デジ化移行推進(1,906万円) = 自主共聴施設の地デジ改修補助金、中継局整備支援など
元気なまちづくり交付金(360万円) = 住民主体の元気な集落づくり、地域活性化などの活動に交付金を交付(上限20万円)

若者定住支援 = 病院や福祉施設の若者向け職員住宅の整備を支援。空き家を利用した移住・定住の支援

過疎バス対策(1,935万円)

産業振興課

売れる米作り助成(36万円) = 特別栽培米の出荷農家に助成、特産品販路拡大を推進

中山間地域等直接支払交付金(4,428万円)

チャレンジプラン支援(450万円) = 意欲ある農業者が取り組むプランを支援

森林整備事業地域活動支援交付金(1,423万円)

橋りょう修繕(725万円)

住宅・建築物安全ストック形成(745万円)

= アスベスト対策への助成

健康福祉課

子ども手当支給(3,683万円) = 中学校修了前の子ども1人につき月額1万3,000円を支給
小中学生の医療費助成(120万円)

子育て支援室「おひさまひろば」(190万円) = 子育て中の親子を対象に、ボランティアの協力を得てひのっこ保育所で開催

母子保健(274万円) = 妊産婦と乳幼児の健康の増進や育児支援

おしどり作業所菜種油製造(197万円) = 郡内産ナタネを使ったナタネ油を製品化

健康増進(757万円) = 健康診査など

ぼかぼか教室(189万円) = 介護予防事業として、筋力・口腔機能向上などの教室を開催

教育委員会

学力向上支援プロジェクト(80万円) = ドリルによる繰り返し学習や地域とかかわりのある学習活動を展開

町村派遣指導主事配置(928万円) = 教育専門家を県から派遣。家庭・地域の教育力向上を図る

小学校耐震補強計画策定(630万円)

放課後子ども教室(764万円) = 放課後の学校を利用し、地域の大人の協力により、子どもの居場所づくりと子育て支援を行う

出前公民館(187万円) = 生涯学習地域推進員を活用し、地域での体験活動を支援

町民ミュージカル補助金(50万円)

ブックスタート(10万円) = 乳幼児から楽しめる絵本や木のおもちゃのプレゼントなど

平成22年度一般会計当初予算

まちの主な事業

特別会計予算

総額およそ15億円
独自運営の7会計

町の予算には、一般会計とは別に、それぞれの目的ごとに運営している特別会計があります。

現在、町には7つの特別会計があり、今年度当初予算の総額は約14億9719万円で、(内訳は表のとおり)。
なお、特別会計には、収支

のバランスを取るために一般会計からお金を繰出しており、医療費給付や水道・下水道施設整備の借金返済などに充てられています。この多額の繰出金は、一般会計を圧迫する要因の一つでもあります。
町では、この繰出し金を少しでも減らすため、公共下水道や農業集落排水への加入促進、介護予防や健康づくりに取り組んでいます。

特別会計の予算額比較表

(単位：千円、 : 減額)

会計名	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度比(%)
国民健康保険	494,317	428,496	65,821	15.36
老人保健	858	1,212	354	29.21
介護保険	624,549	603,462	21,087	3.49
後期高齢者医療保険	58,410	56,164	2,246	4.00
簡易水道	112,435	117,275	4,840	4.13
公共下水道事業	135,227	143,849	8,622	5.99
農業集落排水事業	71,394	74,367	2,973	4.00
合計	1,497,190	1,424,825	72,365	5.08

学力向上は 規則正しい生活から

教育講演会

町教育委員会では、子どもたちの学力向上や家庭での生活習慣の改善などについて、保護者などに理解いただくため、立命館大学教育開発推進機構の陰山英男教授を講師に招き、2月28日に、町文化センターで教育講演会を開きました。

家庭生活が
学力向上を生む

陰山教授は兵庫県生まれ。兵庫県内の公立学校教諭を経て、2003年には広島県尾道市内の小学校校長に就任。百ます計算や独自の漢字テストなど、さまざまな手法で子どもたちの学力を伸ばしてき

た実績があり、現在は、立命館大学教育開発推進機構教授をはじめ、文部科学省中央教育審議会委員を努めるなど、教育の第一線で活躍中です。この講演会は、平成21年度とつとり学力向上支援プロジェクト交付金事業を活用して開催したものです。演題は、「学力は一年で伸

びる」。陰山教授は、自らの教員としての経験などを通して、海外と日本の教育の現状を比較しながら、子どもたちの学力向上のためには何が必要かを訴えました。

百ます計算などで有名な陰山教授は、同じことを繰り返し学習することや、生活の基本である早寝・早起き、きちんと朝ごはんを食べることなど、基本的な生活習慣がとても大切だと話しました。また、「基本的な生活習慣から学力は伸びる。学力向上は学校だけでなく、家庭の力

がとても大切」とも話し、保護者や教育関係者など、満員の来場者は、約1時間30分の講演を熱心に聴いていました。

生活習慣を見直し
家庭で実践を

講演終了後にアンケートを行ったところ、参加者から「家庭で当たり前のことが実践されていないことに気づきました」「食事や睡眠が成績に関係していることが分かり、きちんとしつけをしていきたい」「これを機会に生活習慣を

振り返り、実践していきたい」などの感想がありました。小中一貫教育へ皆さんのご協力を

日野町では、平成21年度から小中一貫教育を推進し、小学校から中学校までの9年間を、発達段階に応じたきめ細やかな学習指導、教育環境整備を学校・家庭・地域の皆さんの力をいただきながら展開していきます。ご協力をお願いします。



「漢字ができるようになれば、ほかの教科の点数も上がる」とも

学力向上推進会議を開きました

3月30日 学力向上推進会議を山村開発センターで開きました。

これは、学校関係者をはじめ、学校評議員や学校評価委員、民生児童委員、保育所と小中学校保護者が中心に集まり、小中一貫教育の取り組み状況や学校の現状について情報交換しながら、学校や家庭、地域の連携をさらに充実し、

町全体で学力向上を目指すものとするものです。

教育講演会（右ページ）の内容を受けて、生活習慣の重要性を認識しながら、家庭生活を基本に家庭と学校との連絡を密にし、地域の皆さんに協力いただきながら、今後教育環境の充実・整備・連携に取り組みたいと思います。

新しい指導主事を紹介します

教育委員会 指導主事

其山 守美 そのやま もりよし



「4月から、県からの派遣指導主事として着任しました。先月までは、米子の西部教育局で学校教育を担当していました。現在は、学校教育と社会教育、また家庭教育と保育を繋げていく仕事を担当しています。日野町の自然と人情豊かな環境の中で子どもたちの育成に携われることにやりがいと楽しさを感じています。」

住まいは、日野町のすぐ隣の伯耆町の二部地区ですので、気軽に声を掛けてください。よろしくお願ひします。」

ソフトテニスの星たちが大活躍

第21回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
3月に三重県伊勢市で行われた同大会で、日野中学校の松本美紀さんと坂本茉莉乃さんが県代表チームに参加して出場、女子団体の部で見事優勝を果たしました。
第55回全日本インドア選手権
2月に大阪市で行われた同大会で、黒坂出身の中川静香さん（ナガセケンコー所属）のペアが、女子の部で見事初優勝を果たしました。

平成21年度

教育行政の点検および評価結果を公表しています

平成21年度事業の成果および課題について点検整理し、その評価結果の報告書を公表しています。町教育委員会事務局・町図書館・役場黒坂支所で閲覧できます。

教育委員会からのお知らせ 新年度体制などについて審議

3月17日と20日、25日に臨時会を、4月9日に第4回の町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

【臨時会】

議案 日野町立社会体育館の管理運営に関する規則の一部改正について「黒坂社会体育館の廃止に伴う改正です。」

議案 平成21年度日野町教育行政の点検および評価の報告について「教育委員会の事務の管理、執行状況を点検評価し、議会に報告するものです。内容については、教育委員会事務局・図書館・公民館で閲覧できます。」

議案 鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について「平成23年度から使用する小学校教科用図書の採択を行います。」

議案 教職員人事異動の内申について「平成21年度末の異動を県教育委員会に提出しました。」

議案 平成22年度日野町教育行政施策について「学校教育の充実、生涯学習、社会教育等の振興について、具体的に施策を示しました。」

議案 平成22年度日野町立児童生徒の認定について「就学援助を必要とする者を認定しました。」

議案 日野町教育委員会事務局職員の仕事について「平成22年度の職員異動及び嘱託職員等の任用を決定しました。」

【第4回委員会】

議案 平成22年度日野町立学校評議員の委嘱について「小中学校の学校評議員を委嘱しました。」

議案 平成22年度日野町立小学校主任等の任命について「小中学校の該当教職員に主任等の任命を行いました。」

議案 平成22年度日野町立学校司書教諭の任命について「小中学校の該当教員に学校司書教諭の任命を行いました。」

議案 日野町教育委員会事務局職員の仕事について「平成22年度の嘱託職員などの任用を決定しました。」

介護の現状など学ぶ

黒坂コミュニティ講演会

3月7日、黒坂地区コミュニティ推進協議会(中原明会長)主催の講演会が、町公民館で開かれ、およそ50人が参加しました。

今回のテーマは、「老後の心配ごとを考える」。日翔会の原田和美さん、大塚一史さんを講師に、認知証や介護、施設入所などについての講演を聞きました。

講師による、日野町の高齢者や介護を受けている人の状況などの説明のほか、参加者からの「もし認知証になったらどうなるのか」などの質問にも答えるなど、老後の暮らしについて考えるよい機会になったようでした。



関心の高い話題に、真剣に聞き入る

まちの話題



コンパクトな車体にさまざまな資機材を搭載

災害現場で力を発揮

町消防団に新型車両を導入

3月20日、災害救助に活躍する資機材を搭載した救助資機材搭載型車両が、町から町消防団へ引き渡されました。

この車両は、消火用小型ポンプをはじめ、AED(自動体外式除細動器)やチェンソー、エンジンカッターなどの資機材を装備。火災現場だけでなく、万一のとき、災害救助の現場での活用が期待されています。

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで(電話72-0332)

介護現場で役立てて

あいごへシーツなど寄贈

経営者にさまざまな支援を行っている米子法人会(鷺見邦弘会長)が、3月16日、特別養護老人ホームあいご(根雨)へ、介護に使ってもらうと古タオルとシーツを寄贈しました。

これは、地域貢献のため、同会が県西部の会員らに呼びかけて集めたもの。古タオルがダンボール25箱分、シーツが100枚と、多くの善意が贈られました。

あいごを運営する日翔会の原田和美本部長は、「いただいた物はおもちゃですが、その気持ちもうれしい。たくさんいただいたので有効に使いたい」と話しました。



寄贈を受ける原田本部長(左)

地域の人へ感謝を込めて

日野中吹奏楽部コンサート

3月21日、日野中学校吹奏楽部による「桜薫るコンサート」が、町文化センターで開かれました。

同吹奏楽部は、小人数ながら迫力ある演奏で知られ、各種大会で入賞しているほか、町内のイベントなどにも多く出演、地域でも人気のあるバンドです。

今回は、クラシックやジャズ、ポップスなど12曲を演奏、息の合ったサウンドを聞かせ、客席から大きな拍手が送られました。

3年生10人にとってはこれが最後の演奏。一人一人が思いを述べる場面もあり、客席は感動に包まれました。



このメンバーがそろうのも最後

親子でお話の世界楽しむ

アートスタート人形劇公演

子どもたちが芸術文化に触れるための「アートスタート」に取り組んでいる、親子でアートを楽しむ会「おひさま」(田口郁江代表)主催の人形劇公演「かくれんぼしてるのだから?」が、3月24日、町文化センター・ホワイエで上演され、約70人の親子らが鑑賞しました。

出演は、くわえ・ばべっとステージの、つげくわえさん(京都府)。草むらから動物たちが次々に現れてかくれんぼをするという物語が、子どもを引きつける話術やさまざまな声色を使って表現され、子どもたちは歓声を上げながらも真剣にお話の世界に浸っていました。



ベテランの芸を見せるつげさん

青少年育成に役立てて

写友会ひの寄付

3月29日、町内外で活躍している写真サークル「写友会ひの」(松本利秋代表)が町制50周年を記念して作成した「ふるさと百景DVD」の収益金の一部を、青少年育成活動に役立ててほしいと、日野町青少年育成会(生田英明会長)に寄付しました。

写友会ひの副会長の岡本勝美さんから寄付金を受け取った町青少年育成会の長谷川事務局長は、「しっかりと青少年育成活動に使わせていただきます。本当にありがたい」と言葉を述べました。



目録を手渡す富谷会長(右)

50万円をさらに寄付

町観光協会が町に寄付

3月25日、町観光協会(富谷進会長)から、町へ金持神社礼所の収益金のうち50万円が寄付されました。

同協会は、2月にも200万円を観光振興のためとして町に寄付。今回は、観光だけでなく町政全般に使ってほしいと、追加の寄付となりました。

当日は、富谷会長らが町長室を訪れ、目録を景山町長に手渡しました。町長は、「日野町を名実共に全国に発信していただき、本当にお世話になっていきます。先月に引き続きの寄付をいただき大変うれしい。大切に使用していきます」とお礼の言葉を述べました。



左から、山本教育長、長谷川事務局長、岡本さん

地域の誇り楽しんで学習

たたら製鉄が開校

かつての奥日野の主要産業だった「たたら製鉄」について楽しく学ぶための「たたら製鉄根雨楽舎」が、町公舎(根雨)の一部を利用して、4月3日に開校しました。

開校式では、計画した町商工会の勝瀬節雄会長があいさつ、「日本の生産量を誇ったたたら製鉄と近藤家の歴史を学び、来町する人や地域の皆さんとのコミュニケーションの場として活用できれば」と話しました。

たたら製鉄は、日南町の大宮楽舎と根雨楽舎の2つで構成。大宮ではたたら製鉄の原理やヤマタノオロチ伝説が中心に学べ、根雨では主に近藤家についてのパネル展示が中心。誰でも分かりやすくたたら製鉄が学べるように工夫されています。



根雨楽舎は土・日に開校。まちの活性化にも期待

まちのシンボル支え続けて

オシドリカンパ金を寄付

3月31日、オシドリの保護活動を行っているオシドリグループ（池岡幸三代表）が、町へカンパ金2万9千円余りを寄付しました。

これは、オシドリ観察小屋（根雨）の駐車場に設置している募金箱に寄せられていたもの。

同グループは、毎年秋から冬にかけて日野川に飛来するオシドリの餌付けや観察客の案内ボランティアなどを行っており、観察小屋へは毎年1万人を超える観察客が訪れるなど、町の主要な観光スポットとなっています。



町長にカンパ金を手渡す池岡さん（右）



美しいアーチを描く一斉放水

無火災記録さらに伸ばして

町消防団出初式

町消防団（藤原洋一団長）の出初式が、4月4日、根雨小学校グラウンドで行われました。

今回は、3月末で退団した宮脇前団長らに感謝状が贈られたほか、団員の表彰や、2人の女性団員の任命などが行われました。

団長あいさつでは、藤原団長が「町内では4年以上住宅火災の発生がなく、普段の活動のおかげだと感謝している。さらに精進してこの記録が伸びるよう努力してほしい」と団員を激励しました。

式典の後、野田河川敷で一斉放水が行われ、1年間の防火の誓いを新たにしました。

かつての繁栄のシンボル

根雨本陣跡案内板が完成

江戸時代、出雲街道根雨宿の中心だった本陣跡（旧根雨郵便局跡地）に標柱と案内板が完成し、4月7日、除幕式が行われました。

本陣とは、江戸時代の参勤交代で大名が宿泊した場所。町ボランティアセンターが中心となって有志で製作した案内板には、根雨本陣の解説や間取り図が掲示され、かつての姿が想像できるようにしています。

お願い

現在、かつての本陣の姿を写した写真を探しています。寄せられた写真は、データとして保存、展示する予定です。詳しくは、町文化センター（電話72 1300）または町ボランティアセンター（電話74 0117）までご連絡ください。



地元産の木材を使った立派な標柱



人気の金持グッズを宣伝するスタッフの皆さん

元気の声を全国へ

NHKラジオ公開生放送

全国を中継車で回りながら放送している、NHKのラジオ番組「ここはふるさと旅するラジオ」の公開生放送が、4月7日、役場前駐車場で行われ、町民ら約240人が参加しました。

番組には、金持神社礼所スタッフやまちづくり日野、オシドリグループの皆さんが出演。司会の島田アナウンサー、岩野アナウンサーとの軽快なやりとりを通して、日野町の元気を全国に発信しました。

また、この日、2005年の番組開始以来の延べ参加者が10万人を達成、思わぬ良い知らせに会場も沸き、番組も大いに盛り上がりました。

農家の皆さんへお知らせ

戸別所得補償

モデル対策が始まりました

モデル対策の交付金を受けるには…

「加入申込書」「作付面積確認依頼書」
「不作付の改善計画」を提出してください

- モデル対策（自給率向上事業および米のモデル事業）の加入に必要な上記の書類は、氏名などを印字したものを、農事実行組合長などを通じて5月上旬ごろから配布します。内容を確認のうえ、必要事項を記入、押印し、6月30日までに提出してください
- 書類の提出先は、町水田農業推進協議会（JA日野支所内）です
※改善計画は、役場産業振興課に提出してください

秋に、「交付対象面積通知書」と「交付申請書」を送ります

- 交付対象面積を通知しますので、交付申請書に押印し、12月15日までに農政事務所などに提出してください

留意事項

自給率向上の対象作物については、収穫や出荷するものが対象となります。捨てづくり防止を確認するための書類（出荷契約書および作業日誌・出荷販売伝票などの写し、または所定の報告書）を申請の際に添付してください。

問合せ

鳥取農政事務所 地域課（電話 0859 - 27 - 1721）
町水田農業推進協議会（電話 72 - 0338）

まちの介護予防だより 連載⑦
役場健康福祉課（電話 72 - 0334）
地域包括支援センター（電話 72 - 1852）

カラダとココロの

介護予防

心身の機能を確認する
基本チェックリスト
対象は65歳以上の人

町では、介護予防が必要な人を早め知り、早期対応するため、65歳以上の人（介護保険認定者を除く）を対象に、介護予防について、心身の状態を調べる「生活機能評価基本チェックリスト」を皆さんから提出してもらっています。チェックリストは、今の自分自身の心身状態を知り、生活機能などの低下がないかを確認する大切なものです。今年も行いますのでご協力ください。

チェックリストは、4月から順次、町が行う健康診査の受診券などと共に送付します。普段の生活の様子を思い浮かべながら記入し、町が行う集団健診会場で提出してください。

町では、記載された内容を確認し、生活機能の低下が見られる人に対しては、健診会場で問診・身体測定・心電図・貧血などの検査を行い、詳しい健康状態を確認します。

健康診査の会場

良好の人 問診のみで終了
生活機能の低下が見られる人

生活機能チェック
・問診
・身体測定
・血圧測定など

生活機能検査
・心電図
・貧血検査
・血液科学検査など

介護予防事業へ参加



記入から検査まで

チェックリスト
を記入

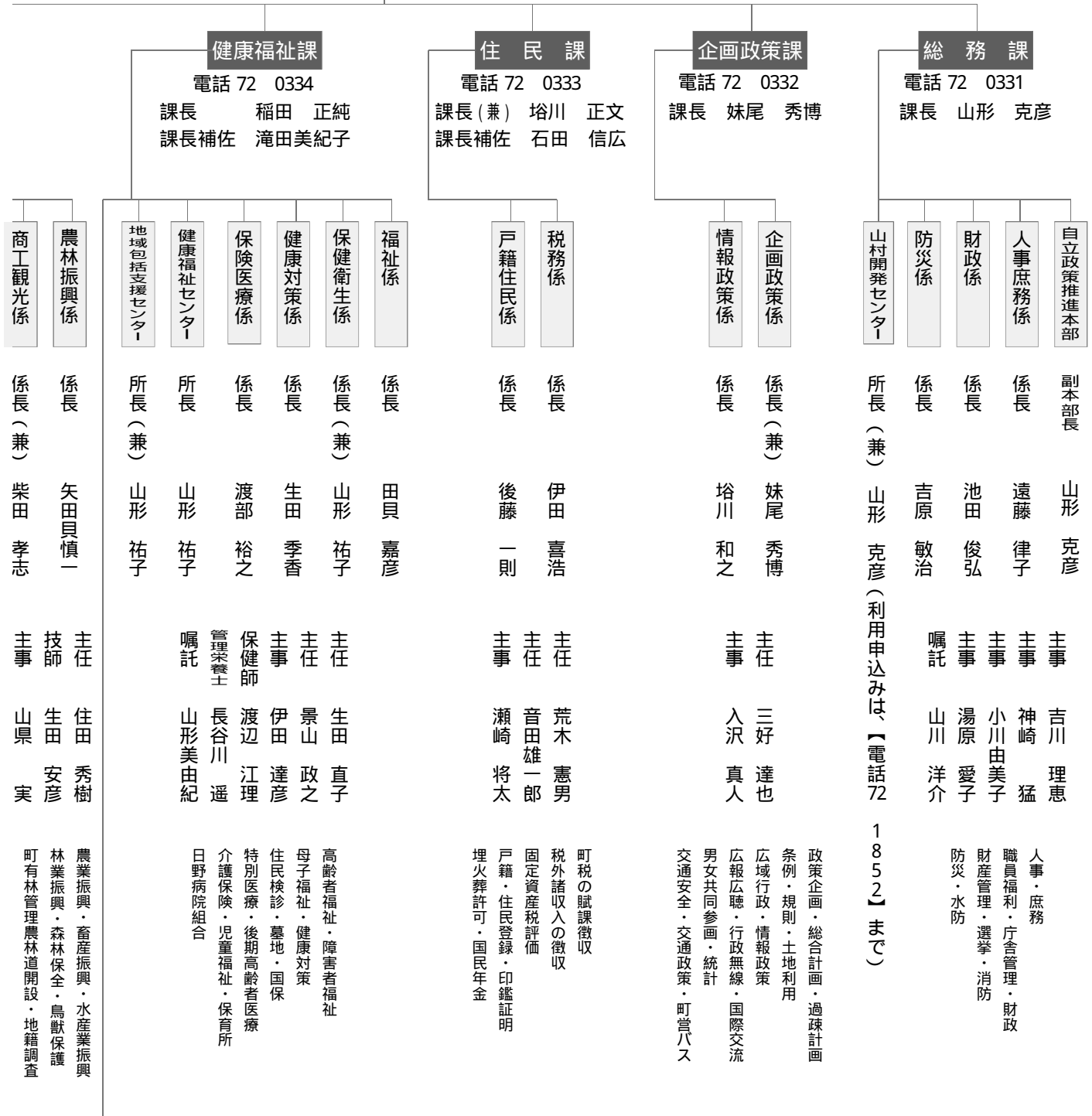
町へ提出
(健診会場など)

平成 22 年 4 月 1 日現在の役場の機構を紹介します

町長部局

町長 景山 享弘 電話 72 0340

(兼) = 兼務 (併) = 併任



議会
電話 72 0335
議会議務局
局長 長谷川 弘信
書記(併) 池田 俊弘
書記(併) 埴川 和之
嘱託 木村 久美

ひのくに保育所
電話 72 0238

所長 長谷川 真由美
所長補佐 音田 真理子
所長補佐 田貝 陽子
主任保育士 寺本かをり
主任保育士 宇田川三枝
主任保育士 音田 浩子
現業主事 西村 和美
嘱託 加藤 文子
嘱託 柴田 初子
嘱託 砂流 愛香
嘱託 住田 沙織
嘱託 長尾 美香
嘱託 宮田 直美

教育委員会部局

日野町機構図

教育長 山本 武史 電話 72 2106

教育委員会事務局 電話 72 2107
 課長 山形 知博
 指導主事 其山 守美

館長(囑託) 梅林 敏彦

電話 74 0212

主事 吉原 尚志

主事 安井 麻美

公民館活動・グループ活動・成人教育
 青少年育成・高齢者教育

館長(兼) 松田 暢子

図書係

係長(兼) 松田 暢子

図書貸出し・参考業務
 読書推進・児童サーピス・展示

所長 松田 暢子

文化センター

係長 音田 初志

自主事業企画運営・ホール貸出し
 文化振興・文化財保護

電話 72 1300

生涯学習係

係長 飛田 朋伸

学校教育・生涯学習・社会教育
 社会体育・人権同和教育

人権同和教育推進係

係長(兼) 飛田 朋伸

人権啓発・下榎隣保館運営

総務学事係

係長 音田 守

小中一貫教育
 学校教育・生涯学習・社会教育

小・中学校

所長(兼) 山形 知博

現業主事 多賀えり子
 学校養護主任 妹尾 里江

電話 74 0409

電話 72 0049

電話 72 0101

電話 72 1167

学校給食センター

嘱託 足立 祐子
 嘱託 頭本 美奈
 嘱託 川上多紀子

電話 72 0049

電話 72 0101

電話 72 1191

下榎集会所・隣保館

所長(囑託) 川上 博史
 指導員 谷口 清子・西村さつみ

電話 72 0101

電話 72 0101

電話 72 2104

出納室

主事 頭本 敏仁

電話 72 2104

電話 72 2104

会計管理者 塔川 正文

主事 頭本 敏仁

電話 72 2104

電話 74 0211

黒坂支所

主事(併) 吉原 尚志
 主事(併) 安井 麻美

電話 74 0211

電話 72 2101

産業振興課

課長 柴田 孝康
 課長補佐 中田 康介

電話 72 2101

電話 74 0211

生活環境係

係長(兼) 中田 康介

電話 74 0211

電話 74 0211

上下水道係

係長(兼) 柴田 孝志

電話 74 0211

電話 74 0211

環境係

主事(併) 中田 早文
 主事 稲田いずみ

電話 74 0211

電話 74 0211

現業主事 石田 三成
 現業主事 小谷 勉

電話 74 0211

電話 74 0211

嘱託 加藤 杏奈

電話 74 0211

電話 74 0211

埋火葬許可・金銭出納

電話 74 0211

電話 74 0211

戸籍・住民登録・印鑑証明

電話 74 0211

電話 74 0211

合併処理浄化槽設置

電話 74 0211

電話 74 0211

簡易水道・公共下水道・除雪

電話 74 0211

電話 74 0211

農業集落排水・町営住宅

電話 74 0211

電話 74 0211

改良住宅・町道新設・維持

電話 74 0211

電話 74 0211

砂防・河川・公共土木施設災害復旧

電話 74 0211

電話 74 0211

商工観光・雇用・企業誘致

電話 74 0211

農業委員会

電話 72 2103
 農業委員会事務局
 局長(併) 柴田 孝志
 係長(併) 矢田貞慎
 主事 中田 早文

みんなの大切な交通機関 町営バスに乗りましょー

平成18年1月から運行している町営バス。

これまで、延べ約19万人の皆さんに利用いただきました。

しかし、利用者の数は年々減少しています。運行経費は皆さんの運賃で賄われています。

安心・安全なまちの暮らしのためにも、みんなで町営バスを利用しましょう。

現在4路線、住民ニーズで多様に運行

町営バスは、まちの皆さんの暮らしに欠かせない交通機関として、平成18年1月に運行を始めました。

初めは、菅福線、奥渡線、板井原・真住線の3路線での運行でしたが、19年4月から根雨宿・病院線の運行を開始、現在はこの4路線で運行しています。

また、従来の路線バスが入れなかった地域にも乗り入れたり、電話予約によるデマン

ド運行など、皆さんからの要望をもとに柔軟な運行に努めています。これは町営バスの大きな特長です。

運賃は町の収入に
みんなで支える町営バス

町営バスの利用者数は、下の表にあるように、根雨宿・病院線が開通した平成19年度には増えていますが、その後は減少傾向にあります。これにより、運賃収入も年々少なくなっています。小中学生が通学する朝夕の便はにぎやか

ですが、ほかの便は人もまばらです。

逆に、経費は路線延長や新路線の開設、燃料費の高騰などで年々増えています。

町営バスは、地域の生活交通手段として、皆さんの利用で支えられています。運賃は、中学生以上200円、小学生100円(根雨宿・病院線は半額)です。皆さんが利用した運賃は、そのまま町の収入となり、利用者が増えるほど町の負担も減り、健全な運行につながります。

お出かけの際は、ぜひ町営バスをご利用ください。



日野町営バス利用案内

■運休日■

日曜・祝日と第1・3・5土曜、1月1日～3日

■利用料金■

中学生以上 200円、小学生 100円

【根雨宿・病院線は、中学生以上100円、小学生50円】

■回数券■

200円券(11枚つづり): 2,000円

100円券(11枚つづり): 1,000円

【バス車内、町役場および黒坂支所、日野病院で販売】

■定期券■

小学生から一般まで、1ヵ月・2ヵ月・3ヵ月定期券があります。金額などはお問合せください。

【町役場および黒坂支所で販売】

■時刻表■

各家庭に配布しています。

日野町ホームページでも確認できます

【<http://www.town.hino.tottori.jp/dd.aspx?menuid=1351>】

町営バス利用者延べ人数 (単位:人)

年度 路線名	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
菅福線	15,981	17,090	16,637	15,901
奥渡線	15,349	16,324	14,603	14,332
板井原・ 真住線	9,349	9,933	9,462	8,457
根雨宿・ 病院線		7,300	6,816	6,111
計	40,679	50,647	47,518	44,801

運賃収入と運行経費の推移 (単位:千円)

年度 金額	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
運賃収入	6,039	5,521	5,270	4,997
運行経費	14,134	16,744	17,579	18,140

お問合せは、役場企画政策課(電話 72 0332)または日本交通根雨営業所(電話 72 0406)まで

日野病院 外来診療案内 (平成22年4月)

診察科目	受付	月	火	水	木	金	土	
内科	一診	午前	熊野健太郎	近藤健人 ¹ (循環器内科)	熊野健太郎	熊野健太郎	熊野健太郎	第2 熊野健太郎
	二診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	今本 龍 (消化器・大学医師)	中下聡子 (脳神経内科)	櫃田 豊	第4 櫃田 豊
		午後		大学医師	今本 龍 (消化器・大学医師)			
	三診	午前		懸樋英一	藤岡洋平 ⁶ (糖尿病・大学医師)	本倉徹 (大学医師)	懸樋英一	
		午後			藤岡洋平 ⁶ (糖尿病・大学医師)			
	消化器検査	午前	懸樋英一	大谷眞二	今本 龍 (消化器・大学医師)	懸樋英一	佐藤尚喜	
	禁煙外来	午前	櫃田 豊					
その他検査	午後	懸樋英一				熊野健太郎		
外科	午前	佐藤尚喜	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	大谷眞二	第4 大谷または佐藤	
整形外科	午前	林 育太	林 育太	岡野 徹 (大学医師)	林 育太	林 育太	第2 林 育太	
眼科	午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦 ²	唐下千寿 (大学医師)	玉井嗣彦	神鳥美智子 (大学医師)		
小児科 アレルギー科	午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	第2・4 頭本一朗	
	午後 ³	頭本一朗	頭本一朗	第2・4・5 頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗		
専門診療科 (大学医師)	午前		泌尿器科 (磯山忠広)	心療内科 (長田泉美)	耳鼻科 (竹内裕美)		皮膚科(第2・4)	
			循環器内科 (近藤健人)	糖尿病外来 ⁶ (藤岡洋平)	脳神経内科 ⁴ (中下聡子)		心臓外科(第2・4)	
	午後			糖尿病外来 ⁶ (藤岡洋平)	血液内科 (本倉徹)		血管外科(第2)	
							婦人科 (月2回)	ペースメーカー ⁵

4月の婦人科診察日は、16日(金)と30日(金)です

自動再来機による受付時間 午前 = 午前7時30分～午前11時30分(診療開始は午前9時～)
午後 = 正午～午後4時(診療開始は午後2時～)

- 1 循環器内科は隔週です。診察日についてはお問合せください
- 2 火曜日の眼科受付時間は、午前10時30分までです
- 3 小児科は午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問合せください
- 4 脳神経内科は完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください
- 5 ペースメーカー外来は偶数月の第4土曜日のみの診察です。
- 6 糖尿病外来は完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください

医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。
詳しくは日野病院(電話72 0351)までお問い合わせください。
日野病院ホームページ【<http://www.hinohp.com>】、正面玄関の掲示板でも確認できます

日野病院組合 日野病院
電話72 0351 FAX72 0089

気象警報・注意報が市町村ごとに発表されます

5月27日から、鳥取地方気象台による気象警報・注意報が、県内すべての市町村を対象に発表されることになりました。

これまでは、「鳥取県」もしくは「中・西部」「日野地区」に対しての発表でしたが、「日野町」を明示した発表になります。

なお、テレビ・ラジオなどでは、これまでどおり「日野地区」などの地域名で放送されることもあります。

市町村ごとの詳しい発表状況は、気象庁HP (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) や、国土交通省防災情報提供センターの携帯サイト (<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>) に掲載する予定です(右のQRコードを利用ください)。



問合せ 鳥取地方気象台防災業務課 (電話 0857 29 1313)

5月1～7日は憲法週間
裁判所見学会など開催

5月1～7日は憲法週間
です。

裁判所と法務省、弁護士会では、憲法週間にちなみ、次の行事を行います。お気軽にご利用ください。

特設人権相談所

日時 5月6日(木)

午後1時～午後3時

場所 山村開発センター

問合せ 鳥取地方法務局人権

擁護課(電話0857 22

2289)

裁判所見学会

5月11日(火)

午後1時～午後3時30分

(場所) 鳥取地方・家庭裁判

所、定員30人)

申込み 鳥取地方・家庭裁判

所(電話0857 22 21

71)

5月21日(金)

午後1時～午後3時30分

人権問題についてご相談ください 人権擁護委員を委嘱

4月1日付けで、鳥居良光さん(黒坂・再任)と山根美奈子さん(野田・再任)が、国から人権擁護委員に委嘱されました。

町では、ほかに杉原和江さん(安原)が委嘱を受けており、町内3人の人権擁護委員が、差別のない明るい社会の実現に向けて、人権相談や街頭広報など人権尊重の啓発活動に励んでいます。

人権相談は、毎月1回、山村開発センターで開いています。詳しくは、23ページ「くらしのカレンダー」をご覧ください。



鳥居良光さん



山根美奈子さん



杉原和江さん

(場所) 鳥取地方・家庭裁判所米子支部、定員15人)
申込み 鳥取地方・家庭裁判所米子支部庶務課(電話0859 22 2205)
無料法律相談
日時 5月12日(水)
午前10時～午後3時
場所 鳥取地方・家庭裁判所米子支部(定員約25人、当日

受付順)
問合せ 鳥取県弁護士会(電話0857 22 3912)、
開催日当日は鳥取地方・家庭裁判所米子支部(電話0859 22 2205)まで

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1484

E-mail hinososyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図書館の展示コーナー

【写真集「空気色の記憶」出版記念】

牧田教介さん写真展

5月1日(土)～30日(日)

木のおもちゃづくり

5月16日(日) 9:30～12:00

場所：図書館車庫

オリジナル時計を作ろう！

(要材料費：ほかのおもちゃも作れます)

図書館おはなし会

5月22日(土) 10:00～

場所：図書館絵本コーナー

わらべうた、絵本、おはなしなど
(参加無料)

サイエンスアカデミー講座

<「健康・医療・子育て」シリーズ>

5月22日(土) 10:30～

場所：図書館郷土資料コーナー

テーマ「特定健診、特定保健指導」

『ブックレット 生田長江』発売中

日野町出身の文学者、生田長江の業績を、さまざまな角度から紹介したブックレットが、県立図書館により出版されました。

1冊500円。ご希望の人は、日野総合事務所または町図書館内「白つつじの会」事務局まで。

日差しの中で ゆったり読書は いかが

▼野外読書コーナーへどうぞ

暖かい春の日差しの中で、
読書やおしゃべりを
楽しんでみませんか。
図書館友の会や
ボランティアの皆さんのご協力により、
図書館の庭に、
廃材を利用した机やイスなどを置いた
野外読書コーナーを作りました。
おしゃべりや飲食もできます。
お気軽にご利用ください。



※季節の花などを株分けしていただける人は
ご連絡ください【町図書館電話72-1300】

6/5(土)

サロンコンサート Vol.9

ジャズ&ボサノバで魅惑の夜を

18:30 開演 (18:00 開場)

会場 町文化センター/ホワイエ

出演 ジャスト・フレンズ

(ボーカル、サクソ、ギター、ベース、キーボード)

料金 飲み物付き 500円(チケットは、町図書館、町公民館などで取り扱い)

主催 ホールと共に歩む会

第9回町民ミュージカル 出演者・スタッフ募集中
小学校2年生以上で、5月から11月まで週2回の練習に参加できる人(スタッフは高校生以上・随時参加)
申込締め切り：4月25日(日) 必着
説明会・オーディション：5月5日(水・祝) 午後1時30分から
問合せ：町文化センター(電話 72 1300)

恒例となった、町歴史民俗資料館での「昔なつかし写真展」を、8月中旬に開きます。
現在、明治・大正・昭和にかけてのまちの暮らしや風景、年間行事の写真などを集めています。
ご家庭の写真などを提供いただける人は、町文化センター内町歴史民俗資料館友の会事務局(電話 72 1300)までご連絡ください。
なお、提供いただいた写真はデータ化して保存し、現物は返却します。

募集しています
「昔なつかし写真」

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
 電話：74-0212 FAX：74-0105
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

1年を振り返り、
 おしどり学園閉講式
 次の1年に期待



式辞を述べる長谷川館長

3月26日、第12回おしどり学園を開きました。

今回は、平成21年度の閉講式を行いました。当日は、来賓として景山町長をはじめ、多くの皆さんに出席いただき、華やかな閉講式となりました。



景山町長の祝辞

21年度は、年12回の開催としてから2年目となりました。今年は5人の学園生が皆勤賞で表彰を受けました。夏の暑い日も、雪の降る日も休まず参加されました。22年度も



皆勤賞の佐蔵君子さん(右)

続いて学んでいただきたいと思えます。

式典の後は、閉講式記念講座として「記念品をつくる」と題し、NHK米子文化センター和紙折り紙教室助手の加藤則子さんを講師に、和紙折り紙で「小笠原雛」を折りました。加藤さんは、折り紙の魅力や楽しさについて話した後、学園生のそばで丁寧に折り方を指導しました。学園生は、難しい折り方を教えてもらったり、学園生同士で協力し合いながら作品を折り上げました。

平成22年度おしどり学園 学園生募集

～いきいきとした生活を送ってみませんか～

平成22年度日野町おしどり学園の学園生を募集します。年齢は問いません。皆さんの学びを応援します。年間通して参加することが難しいから、これまで参加しなかった皆さん！ぜひ一度会場にお越しください。良ければ二度、三度とお越しください。皆さんの参加をお待ちしています。

〔期間〕4月から毎月1回(概ね第3金曜日)

〔場所〕町公民館など

〔時間〕午前9時30分から午後0時30分くらい

〔専門講座〕7講座(ほかにも検討中です。)

生花 手芸 料理 語る会 グラウンドゴルフ

健康 写真(22年度から新設)

〔問合せ先〕町公民館(電話74 0212)



折り方の指導をする加藤さん(右)



折り上がった作品

みんなで集まって 元気に暮らしましょう

出前公民館活動紹介

町公民館では、地域の皆さんが集まってみるきっかけとして、「出前公民館」に取り組んでいます。昔懐かしい映画を見たり、お茶を飲みながら映画の感想や近況を話すなど、楽しく時間を過ごしています。



座談会と同時開催で集まりやすく



職員がパソコン操作を指導しました

3月には、小原で小地域座談会を開いた後、懐かしい映画を見ました。また、久住では、パソコンを始めたばかりで教えてほしいとパソコン教室も行いました。定期的に予定して開かれる地区や、そのときの要望で出かける地区などさまざまです。平成21年度に重点事業として取り組んでみて、出かけた先でいっぱい元気をいただきました。22年度も出前公民館で元気な地域づくりをしましょう。

3月実施地区

真住・奥渡老人クラブ・小原・上本郷・黒坂1区・黒坂3区・久住・舟場

わくわくの体験で心に残る一日

小学生春休み体験教室「自然観察会」

3月30日、小学生の春休みに自然観察会を開きました。

今回は、講師に日野総合事務所福祉保健局の自然保護監視員、番原昌子さんを迎え、黒坂地内を歩きながら周りの自然を観察しました。

番原さんは、子どもたちの興味をそそるような口調で楽しく説明。また、子どもたちが積極的に質問をしても優しく答えていました。自然の中は、子どもたち



何を見つけたのかな？

が知らないことばかり。葉っぱをちぎって匂いをかいでみたり、口に入れてみたりと、見て聞いて触れる教室に興奮した様子でした。

昼食も自分たちで作りしました。一緒に参加した保護者を講師に、春の山菜を天ぷらにしました。子どもたちは、初めて見る山菜の数々に期待と不安でいっぱいでしたが、食べてみると「おいしい」の聲が上がりと、たくさん食べていました。



山菜はよく洗ってから料理

毎月第3日曜日は「家庭の日」

家族みんながそろって、ともにうちとけた楽しい会話や気持ちのよい汗を流すなど、家族団らんの一日を過ごしましょう。

日野町青少年育成会



町公民館の使用手続きについて

まず、「公民館使用申込書」を提出してください
使用後は、使った部屋の掃除をお願いします
使える日は、年末年始（12月29日～1月3日）以外
使用できる時間は、午前8時30分～午後10時までです
施設内は禁煙。喫煙は玄関横の所定の場所をお願いします
ロビーや図書室は午前8時30分～午後5時30分まで
開放しています。お気軽にお越しください。

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



職員体制が変わりました

4月1日から隣保館職員が変わりました。どうぞよろしく願います。

【職員紹介】

館長	川上 博史(兼人権センター所長・集会所長)
指導員	谷口 清子
指導員	西村さつみ
生活相談員	西村 千秋

【開館時間】午前8時30分～午後5時

隣保館の活動

【学習講座】

生け花講座

日時 毎月第3火曜日

午後7時30分

場所 下榎集会所

講師 生田清子さん

流派 草月流

このほかに、いろいろな楽しい活動を計画しています。

活動内容は、毎月の隣保館だよりや町の防災無線でその都度お知らせします。

隣保館学習講座は、町民どなたでも参加できます。どうぞお気軽に参加ください。

【相談事業】

生活の困りごと、心配事などの相談事業を行っています。

ます。

相談は、いつでもお気軽にどうぞ。特に、毎月第1・3水曜日は生活相談員が常駐します。

生活相談 職業相談、人権相談、高齢者問題など、専門機関と連絡を取り合い問題解決に取り組みます。

相談の秘密は固く守られます。町民の皆さん誰でも安心してご相談ください。

また、自宅に伺っての相談にも応じます。お電話ください。

相談・問合せ 下榎隣保館 生活相談員 西村(電話721191)

【貸し館事業】

下榎隣保館・集会所、老人

憩の家の各施設を有料で利用できます。(1時間100円から150円)

【憩の家事業】

「ぼかぼか教室」や「よつてみよい家」など、お年寄りを中心に、介護予防やおしゃべりなどの楽しい活動を主にしています。お誘い合わせ参加ください。



5月の学習講座予定

■生け花(草月流) 5月18日(火) 午後7時30分
会場 下榎集会所(講師：生田清子さん) ※花代が必要です。
▼日程など変更になることがあります。詳しくは下榎隣保館へ
▼講座は2時間の予定です。町民どなたでも参加できますので、お気軽に参加ください。
▼交通不便の場合は相談に応じます。

下榎隣保館では、皆さんからの「意見」「ご要望」を募集しています。学習講座など、習ってみたいことなどありましたら、お気軽にお申し出ください。

食用廃油の回収にご協力を

隣保館では、廃油の回収用ポリ缶を設置しています。使用済みの食用油をお持ちください。

平成21年度 小地域座談会を 終えて (第1部)

36自治会が開催

平成21年度の小地域座談会は、安心・安全で心豊かな地域社会を一人一人の力で築いていこうと、『人権尊重のまちづくりをしよう』をスローガンに、全自治会での開催を目指して取り組みを進めていただきました。その結果、昨年度と同じ36地区で開催ができました。

近年の座談会では、身の周りや地域での暮らしの課題について皆さんの関心が高まっているようです。自治会長の協力と住民の皆さんの熱意に

年度	開催地区数
平成14年度	31
平成15年度	22
平成16年度	22
平成17年度	24
平成18年度	31
平成19年度	29
平成20年度	36
平成21年度	36

改めて敬意を申し上げ、来年度はさらに多くの自治会で開かれますようお願いいたします。

連続開催の自治会増える

過去5年以上連続して開いている自治会が増えています。その内訳を見てみると、平成19年度の時点では6地区だったのが、平成20年度は10地区に、21年度では13地区と着実に増えています。

これは、自治会総会の事業計画に座談会開催を入れていただく自治会が増加してきたことによるものと思います。ほかの自治会でも、小地域座談会の開催を、ぜひ予定していただきたいと思えます。

複数自治会で合同開催も

1つの自治会でなく、隣同士の自治会で合同開催した自

人権のまちひの

日野町人権・同和教育推進協議会広報紙
2010年4月

治会は19地区ありました。参加人数が少ない、高齢化などの理由で、単独での開催が難しくなりつつあるのも現実です。そこで、2つ以上の自治会が合同で開催する自治会が増加する傾向にあります。地域の実情によって、共同での開催を検討してみてもいいでしょうか。

他の活動と併せた開催が

昨年ごろから、地区公民館活動の料理教室や青年教室、また、町の「ぼかぼか教室」や「出前公民館活動」と併せて開かれる自治会がだんだんと増えてきました。

の 自治会	17
の 自治会	10
の 自治会	9

小地域座談会は、暮らしの中で一人一人が大切にされ、支え合って誰もが安心・安全に暮らしていくための、地域

日野町人権・同和教育推進協議会総会及び
第1回町民人権講座を開きます

日時 4月22日(木)午後1時30分開会

総会終了後、引き続き町民人権講座を開きます
場所 日野町山村開発センター

【総会の内容】 2009年度事業・決算について
2010年度事業計画・予算について

【町民人権講座】

講演 『里山の暮らしを守る』

講師 安達享司さん(安達商事代表取締役)

山間集落や地域への食料品の移動販売を通して、高齢者などへの見守り活動を続けている「あいきよのひまわり号」の活躍を映像で紹介するほか、「里山の暮らしを守る」将来への目標・夢について、安達さんから熱く語っていただきます。この講座は無料で、どなたでも参加できます。開会は午後2時ごろを予定しています。ぜひお出かけください。

みんなの話し合い、学びの場です。つまり、すべての地域活動の原点となる地域づくりのための話し合いの場なのです。

このような観点から、これからの座談会の持ち方も、ほかの地域活動と併せたり、あるいはぼかぼか教室や出前公

民館活動などの町の事業と合同で開催することは有意義なことと思います。ぜひご検討をお願いします。

紙面の都合上、第2部は次回以降に掲載します。

おひさまひろば だより



今年度から
週3日・
5時間に拡大!

ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、親子で楽しく遊んでいます。

今年度から、曜日・時間を拡大しました。

開設日 毎週水・木・金曜日 9:00 ~ 14:00
11:00には昼食の準備をします。午後からも参加する人は、お弁当・お茶を準備してください。

5月の予定

- 13日(木) = 保健師による育児相談・育児講座
相談したいことなどを事前に記入する用紙がありますので、育児について気になること、困っていることなど、お気軽に相談ください。
- 20日(木) = お散歩デー (雨天時は小麦粉粘土)
保育所周辺の春を見つけに行きましょう。日よけや水分補給もしっかりしましょう。
- 26日(水) = 町図書館からのおはなし会 (9:45 ~ 10:15)
- 28日(金) = 花の種まき (あさがお・ひまわり)

太陽の光が入り、とても暖かい部屋で、お母さんやボランティアに見守られ子どもたちは安心して遊んでいます。おひさまひろばではじめて友達と出会い、いろいろな経験を共にする中で、友達を求める姿や「みんな一緒」という意識が育ってきます。みんなが楽しく集う場所にしたいです。どうぞお誘いあわせ参加ください。

子育て支援室運営調整会議委員の皆さんを紹介します(五十音順、敬称略)。荒木直美・緒形崇子・亀田知恵・杉原和江・田口郁江・松本沙代子・松本智子・森田順子・杠美恵子 よろしくお祈りします。

子ども用品をリサイクルしています

子ども用品の提供交換をします。使わなくなったおもちゃや小さくなった靴・服・帽子などはありませんか。随時受付けていますので、ご協力をお願いします。

みんなで一緒に遊みましょう

- お散歩やお出かけをして、いろいろなことを体験しましょう
- 絵本の読み聞かせを通して、絵本が好きな子どもに育てましょう
- 手遊びやわらべうた、ベビーマッサージを通して、親子や友達のつながりを深めましょう。

連絡先 ひのっこ保育所 (電話 72 0238)
役場健康福祉課 (電話 72 0334)

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

草餅や火糰もまた匂ひ立ち (講師) 谷 悦子
 小石にもそれ相応の下萌ゆる 安達つる糸
 千もある水子地蔵に涅槃雪 荒木 習子
 旧道は老の足並余寒かな 勝瀬 京子
 水ナ底の鯉にとゞきし春陽射し 川上 文子
 学校は地区の真ん中花芽吹く 久城 霞溪
 樹の個性ゆたかに飾る春の雪 徳本千鶴子
 雪解水谷はこころと活気づく 真壁富貴枝
 (五十音順)



編集後記

早いもので、広報担当となって6年目に突入しました。ということは、町内の小学生みんなの顔写真を撮影し、4月号の表紙にしてきたということになります。今年の1年生も元気いっぱいでした。レンズを向けるとポーズをとってくれたり、ニコニコ笑顔をつくってくれたり。一番かわいく写るよう努力するプロ根性が垣間見え、感心しました(笑)(i)

届出 3月11日 ~ 4月10日 敬称略
 おくやみ
 ご冥福をお祈りします
 (氏名) (年齢) (住所)
 3月届出分
 岡本 角子 91歳 黒坂
 足羽 澄子 80歳 小原

4月1日現在

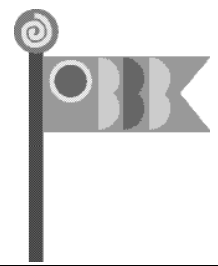
わたしの町

(前月比)

人口 3,865人(-37)
 男性 1,809人(-24)
 女性 2,056人(-13)
 世帯 1,501戸(-11)

5月 暮らしのカレンダー

MAY (皐月)



1 土		21 金	ペットボトルの収集日(全町)
2 日		22 土	
3 月	憲法記念日(可燃ごみの収集は休みます)	23 日	
4 火	みどりの日(可燃ごみの収集は休みます)	24 月	
5 水	こどもの日	25 火	歯科検診、フッ素塗布 開発センター 受付:午後1時15分~午後1時30分
6 木	人権相談 開発センター 午後1時~午後3時	26 水	古紙の収集日(全町)
7 金		27 木	特定健康診査(集団検診) 詳しくは下をご覧ください
8 土		28 金	軟質プラスチック、布・衣類・布団の収集日(全町) 特定健康診査(集団検診) 詳しくは下をご覧ください
9 日		29 土	
10 月	健康相談 町公民館 午前9時~午前10時	30 日	
11 火	法律相談 開発センター 午後1時~午後3時 申込み:町社会福祉協議会(74-0338)5月7日〆切 乳児健診、BCG予防接種 開発センター 受付:午後1時15分~午後1時30分	31 月	固定資産税1期分の納期限日
12 水	不燃ごみの収集日(全町) ----- 行政相談 開発センター 午前9時~正午	<p>特定健康診査(集団検診)の対象地区・受付時間 27日(木)...黒坂6・7区、久住、下黒坂、根妻、 下菅(会場=町公民館、受付=午前9時~午前10時)、中菅、中 菅中央、近江・畑、小河内、布瀬谷、下・中・上上菅、 井ノ原、諏訪、漆原、下福長(会場=町公民館、受付=午後 1時30分~午後2時30分)。 28日(金)...黒坂1~5区(会場=町公民館、受付=午前 9時~午前10時)、根雨6区、三谷1・2区、貝原、舟 場(会場=開発センター、受付=午後1時30分~午後2時30分)。</p> <p>ミニギャラリー情報 (町内の展示コーナーを紹介します)</p> 島根銀行根雨支店(根雨) 「野坂正昭さん写真展」~5月末まで 山陰合同銀行根雨支店(根雨) 「佐々木恭三さん武者絵展」5月17日~6月18日 蔵美術館(上菅) 「『山里の風景』写真展 part II」5月1日~30日 県西部地震展示交流センター(根雨) 「被災後の地域ケア~交流と訪問、8年の記録~」 ~6月25日まで	
13 木			
14 金	軟質プラスチックの収集日(全町)		
15 土			
16 日			
17 月			
18 火	隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分~		
19 水	資源ごみの収集日(全町)		
20 木	農業相談 役場産業振興課 午前9時~正午		

直 通 電 話	総務課	72 0331	企画政策課	72 0332	住民課	72 0333	出納室	72 2104
	健康福祉課	72 0334	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211	町公民館	74 0212
	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
	学校給食センター	72 1167	地域包括支援センター	72 1852	ひのっこ保育所	72 0238	下榎集会所	72 1191
	役場代表番号(夜間・休日) 72 0331							

町長の定期便

第49回

まちの元気を発信

最近、三寒四温が続いていますが、桜の花も満開となり、日に日に春めいています。

4月3日には、町商工会がまちの活性化と地域資源の掘り起こしのため、「たたら楽校」を町公舎の一部を利用して開校されました。

根雨は、たたら楽校の歴史と宿場町で大変栄えたまちでした。たたら楽校の中心であった近藤家の歴史が分かりやすく説明してありますので、ぜひ立ち寄ってみてください。開館は、土・日曜日となっています。

また、7日には、松江藩主が参勤交代の旅宿として利用した根雨本陣があった場所に案内板などが完成し、除幕式がありました。ご尽力いただいた皆さんにお礼申し上げます。

同じく7日、役場駐車場では、NHKラジオ「ここはふるさと旅するラジオ」の公開生放送が行われました。金持神社礼所のスタッフやまちづくり日野、オシドリグループの皆さんが元気良くまちの現状を全国に発信してくださいました。会場には、町内の老若男女の皆さんが多く観覧してくださいました。進行役の島田アナウンサーの巧みな話術で大きく盛り上がり、おなじみの鳥取放送局の岩野アナウンサーも参加、拍手や合いの手で会場が一体となつて日野町の良さが強調できたと思います。

また、この番組の延べ観覧者数が、なんとこの日10万人を達成したとのこと。各位に感謝するとともに、NHKともどもお礼申し上げます。（4月7日記）

日野町長 景山 享弘



長芋入りサクサク衣の食感が楽しい
ヘルシーな豆腐メニュー

町民生活改善推進協議会さん 料理73
オススメ料理

豆腐カツ

(1人分) 熱量：約280kcal、塩分：0.8g、
カルシウム：300mg

【材料】4人分

- 木綿豆腐(800g) ●長芋(200g) ●揚げ油(適量)
- 片栗粉(大さじ2) ●パン粉(大さじ4)
- いりごま(適量)
- みそソース【赤みそ(大さじ4)、水(大さじ4)、酒(大さじ6)、みりん(大さじ2)、砂糖(大さじ1.3)、ざらめ砂糖(小さじ1)、しょうゆ(大さじ1.5)、一味唐辛子(適量)】

【作り方】

- ①豆腐に同じ重さの重しを乗せ、5～6時間ほど置いて水気を切る。長芋の皮をむいてすりおろす
 - ②豆腐を2つに切り分け、片栗粉をふりながらすべての面にまぶす。それを長芋にくぐらせ、パン粉をつける。すぐに約180℃の油で3分ほど揚げる
- 赤みそと一味唐辛子以外のみそソースの材料を鍋に入れて熱する。沸騰したら弱火にして、みそを溶かしながら加え、焦げ付かないように木ベラで混ぜながら約5～7分熱する。最後に一味唐辛子を加える揚げた豆腐を切り分け、みそソースをかけていりごまを散らす

オシドリにゃんす

VOL. 146



ありがとう

昨秋から半年間お世話になりました。えさを提供して下さった方、作業に協力いただいた方、案内役を努めて下さった方、「頑張れよ」と激励してくださいました。皆様のご理解とご協力をいただき、今シーズンを終えることができました。周辺住民の皆様には車の往来で大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。皆様の応援のおかげで、オシドリの北帰行は完了です。

【連絡先】オシドリグループ事務局

森田(電話)72-0271



「しっかり食べて出発だ」「はい了解！」

撮影 杉原正男さん(島根県雲南市)